平成２４年度 行政評価　　　政策カルテ（平成２０～２３）

基本施策主管課	文化課	総合計画　記載頁	１３６ページ

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名（基本施策名）	３　個性的な市民文化・都市文化を創造する	政策の達成目標（基本施策目標）	本市の誇りである地域文化が市民の手により育まれ，魅力あふれる個性的な市民文化・都市文化が創造されています。	Ｈ２３中間総括評価時点の政策の達成度	**A**	A：順調　B：概ね順調 C：少し遅れている　D：遅れている

１　政策を構成する各施策の取組状況

No.	施策名	主要な取組内容	施策指標の実績とＨ２４末の見通し	指標の達成率	施策指標 指標の数値	課題
1	文化活動環境の充実	◆文化芸術の学習・発表・鑑賞機会の充実のため，市民芸術祭，ジュニア芸術祭を開催するとともに，ふれあい文化教室等の教育普及事業の実施及び施設の改修を行っている。 ◆文化芸術を担う人材・団体育成・支援の推進のため，宇都宮エスペール文化振興事業や文化ボランティアの育成・支援を実施している。 ◆個性ある文化資源活用の推進のため「ジャズ」「百人一首」「妖精」によるまちづくり推進事業を実施している。	◆総合計画に掲げた活動指標について，市民芸術祭等の文化活動の参加者が増加している。 ⇒現時点で既にH24の施策目標を達成しているが，市民芸術祭等の事業の更なる周知に努めることで，H24には目標値を上回る見込みである。	108.5%	◎市民芸術祭，ジュニア芸術祭の参加者数 現状値 Ｈ23：130，187人 ↓ 目標値 Ｈ24：120，000人	◆今後継続的な市民の文化活動を推進するため，市民が気軽に利用できる練習の場などの充実を図り，更に文化芸術の裾野を広げる必要があるとともに，文化の担い手を育成する文化振興事業を推進する必要がある。 ◆現時点で施策指標も達成しており，今後は更に市民の文化活動の質の向上を目指す必要がある。
2	文化的資源の掘り起こし，保存，継承	◆文化の継承・伝統文化の保存・活用のため，上神主・茂原官衙遺跡等の重要遺跡の保存・整備を行うほか，飛山城史跡公園等での文化財の保存・活用や，伝統文化継承事業などにより，市民による文化財保存活動の支援を実施している。 ◆歴史・文化財活用ネットワークの構築のため，HP「歴史と文化財」を用いた情報発信や文化財ボランティアによる文化財ガイドを行いながら，市内5箇所の展示施設において，文化財の展示・啓発を行う取り組みを実施している。	◆文化財保存団体数は，地域の文化財保存のための市民協働事業の活発化により，着実に増加している。 ⇒　H24の見通しとしては，文化財保存団体数は変わらないが，保存団体による活動が活発化することが考えられる。	126.8%	◎文化財保存団体数 現状値 Ｈ23：52団体 ↓ 目標値 Ｈ24：41団体	◆本市の伝統文化や文化財の保存と継承については，市民の関心度は近年高まってきているが，保存継承活動者の多くは，高齢化しており，若年層の参加が課題となっている。 ◆文化財を保存し，周知・活用していくための方策として，歴史・文化財活用ネットワーク構築にむけ，市内各地に分散する展示施設を連携させた活用事業を進めることが課題となっている。 ◆文化財表示板の老朽化に対する対策が課題となっている。
政策を構成する施策指標の達成状況		**A**	※各施策の「指標の達成度」の平均値をA～Eの指標で提示 90%以上：A　80～90%：B　60～80%：C　40～60%：D　40%未満：E	施策指標の達成度平均値	117.7%	

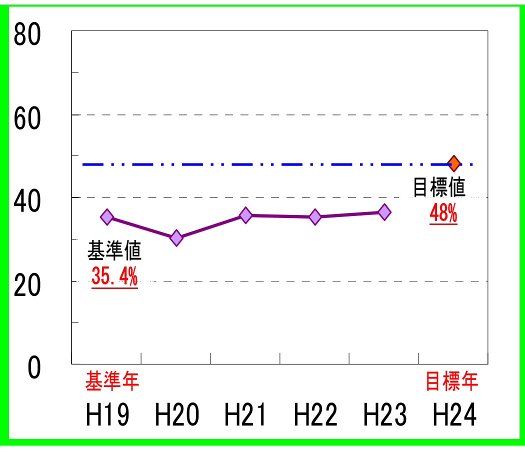
２　これまでの取組状況（Ｈ２０～Ｈ２３）と見通し

主要な取組内容		外部要因特記事項など	実績とＨ２４末の見通し
成果の大きい施策	「文化活動環境の充実」及び「文化的資源の掘り起こし，保存，継承」については活動指標を達成しており，市民の重要度・満足度についても一定の評価を得ているところである。	◆国により，平成23年2月に「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）」が閣議決定し，文化芸術の振興を公共政策と位置づけ，以後5年間を見通した文化芸術の振興を総合的に推進するとされた。 ◆少子高齢化により文化芸術の担い手が減少している。 ◆平成22年7・11月の社会教育委員の会議において「『ジャズ』を活用したまちづくりがアピールできれば，宇都宮が文化的に認知される。」「子どもに対する事業に取り組み，本物を見る目を育てるべき」「既存施設の防音対策を行うなど，市民の文化活動を支援してほしい。」との意見があった。 ◆平成22年11月の文化財保護審議委員会において，「学術，研究，活用の機能をもった施設の整備が必要ではないか。」「文化財の愛護団体など，市民が自主的に文化を育てていくような事業を支援するような取組を進めてほしい。」との意見があった。 ◆平成22年度の「宇都宮市の文化に関する調査」において「ジャズのまちづくり事業」に約6割が参加または知っていると回答するとともに，芸術文化振興行政の要望として情報提供に対する要望が高かった。 ◆平成23年度の前期基本計画評価市民懇談会において，「担い手の育成が重要であり，子どもを意識した取組みの充実を図ることが必要。」との意見があった。	◆文化活動環境の充実については，「文化芸術の学習・発表・鑑賞機会の充実」のため，市民芸術祭，ジュニア芸術祭を開催するとともに，ふれあい文化教室等の教育普及事業の実施及び施設の改修を行っている。また，「文化芸術を担う人材・団体育成・支援」のため，宇都宮エスペール文化振興事業や文化ボランティアの育成・支援を実施している。更に「個性ある文化資源活用の推進」のため，「ジャズ」「百人一首」「妖精」によるまちづくり推進事業を実施した。 ⇒H24の見通しとしては，市民芸術祭等の参加者数が伸びており，市民の自主的な文化活動が活発化している。 ◆文化的資源の掘り起こし，保存，継承については，「文化の継承・伝統文化の保存・活用」のため，上神主・茂原官衙遺跡等の重要遺跡の保存・整備を行うほか，飛山城史跡公園等での文化財の保存・活用や，伝統文化継承事業などにより，市民による文化財保存活動の支援を実施している。また「歴史・文化財活用ネットワークの構築」のため，HP「歴史と文化財」を用いた情報発信や文化財ボランティアによる文化財ガイドを行いながら，市内5箇所の展示施設において，文化財の展示・啓発を行う取り組みを実施している。 ⇒H24の見通しとしては，文化財保存団体数は目標値を超えており，市民の自主的な文化活動が活発化している。
取組の遅れている施策	－		

３　市民意識調査結果

Ｈ２３市民意識調査	市民の政策満足度	
	Ｈ２３満足度	達成率
	36.4%	75.8%
	目標に対する達成率が 高：90%以上 中：70～90%未満 低：70%未満	**中**

政策に関する市民満足度の推移（Ｈ１９→Ｈ２３）



４　今後の方向性

今後の方向性

◆「文化活動環境の充実」については，引き続きこれまで行ってきた市民芸術祭や教育普及事業の実施及び施設の改修，宇都宮エスペール文化振興事業や文化ボランティアの育成・支援を継続することにより，市民の文化活動環境の充実に努める。また，ジャズ，百人一首，妖精といった，本市の個性ある文化資源の活用と情報発信により，市民の芸術文化への興味・関心を高める。
◆「文化的資源の掘り起こし，保存，継承」については，引き続きこれまで行ってきた重要遺跡等の保存・整備や，伝統文化継承事業など市民による文化財保存活動への支援を継続するとともに，伝統文化の担い手の育成を進めながら，文化財の保存，継承に努める。また，大谷の景観などの本市の個性ある文化資源の活用と情報発信により，市民の歴史文化への興味・関心を高める。